

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウィッシュかがみの			公表日		令和6年 12月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		ホールを含めて、3部屋を使用しています。マットや可動式パーテーション等を、活用しています。	広いホールや長い廊下があります。安全面に配慮し、必要に応じて、パーテーション等を活用します。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童発達管理責任者1名と、保育士等を4名、計5名を配置しています。常勤で配置しています。	男性職員が2名配置されている為、引き続き同性介助ができるよう、スケジュールを組んでいきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	マット等を活用し、お子様の過ごしに合わせて、環境を整えています。写真や絵カード等を使って、情報を伝達しています。	3階まで階段を使用しています。階段の昇降は、お子様の状態等にあわせて、職員がそばで見守り、安全面に配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		動と静の遊びを組み合わせ、遊べるように、毎朝、清掃も含めて、物の配置や、安全面の点検をしています。	今後も、清掃や点検等含め、施設・設備・事業所外環境の安全点検を、2カ月に1回行います。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		休憩できる部屋を設けています。お子様に合わせて、自分用のスペースも、確保しています。	お子様がいつでも使えるようにしています。必要に応じて、個別のスペースを用意します。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		翌日に、前日の支援の振り返りをしています。気づきを共有し、改善に向けて、職員間でPDCAサイクルを、回しています。	今後も、PDCAサイクルに、広く職員が参画できるように、毎日話し合う機会をもちます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表は、職員全員が目を通して、意向等の把握を行い、評価結果をもとに、話し合いを、行っています。	回収数や意向等の把握と共に、日々のPDCAサイクルを繰り返し行い、業務改善に努めていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝礼時、ケース会、職員会議等で、職員全員が参加しています。話し合う機会をつくり、情報を共有しています。	お子様との関わりを通して、気づいたこと等、意見交換できるよう、風通しの良い雰囲気をつくり、改善に向けて、取り組みます。		

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	評価の集計結果をもとに、話しあいを行い、夏の長期休暇時は、アルバイトを募集し、客観的にみて頂く機会も、大切にしています。	予算等の関係から、実施できていないです。必要に応じて実施し、ボランティア等の受け入れ等も、今後考えていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内外の研修に、広く職員が参加しています。今年度は、お子様の卒業後を見据え、職員で、法人内の事業所見学に行きました。	職員会議では、受講後、研修の報告を行い、職員間で、学びの共有を図り、支援に活かしていく機会をつくっています。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムは、管理者を含め、職員全員で、話し合いを行っています。HPで公表します。	職員一人ひとりが、活発に意見交換できるように、5領域や、提供する支援について、共通理解を、深めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		面談時には、担当職員も入っています。お子様やご家族の思いを、職員間で共有し、計画書に繋げています。	成長過程と共に、お子様のニーズの把握に努め、小さな気づきや変化を見つけた時には、職員間で、共有していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員一人ひとりが、お子様との関わりを通して、気づきを共有しています。一人ひとりにあわせた、取り組みを考えています。	安心する居場所をつくり、保護者様と一緒に、お子様の育ちをサポートできるよう、日々、職員間で、話し合う機会をもちます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		担当職員が作成した原案をもとに、チームで確認し、検討をしています。毎朝の振り返り等の時間も、活用していきます。	全職員が共通認識を持ち、支援にあたることのできるように、チームで検討する時間を、深めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		フレームワークを活用した自閉症支援を活用しています。	今後も、一貫性のある視点・同じ視点で計画を立てるように、努めていきます。チームで確認していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		保護者様の聞き取りや、障害児支援利用計画等をもとに、お子様一人ひとりに合わせて、作成をしています。5領域との繋がりを明確にし、職員間でも、確認しあいながら、内容を設定しています。	今後も、職員間で、5領域の理解と共に、支援の全体像や方針等を含め、共通理解を深めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎朝、職員全員が集まり、当日の計画案を、確認し、組み立てています。	行事については、担当職員の意見を把握し、次年度の実施回数等については、調整しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		日々の活動や行事では、職員を固定せずに、ローテーションをして、担当しています。	お子様のしたいことや、やりたことを、応援できるよう、活動を振り返り、職員間で意見交換をしています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		17番と同様。放課後等デイサービス計画を作成し、一人ひとりにあわせた手立てを、用意するよう、努めています。	今後も、一人ひとりにあわせた手立て等を、用意したり、活動を提供したりできるよう、工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		17番と同様。役割分担については、個々の職員の意見も聞き、確認しながら、調整をしています。	今後も、職員間で柔軟な思考をもち、チームで連携して、支援にあたれるよう、創意工夫を図っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	翌日に全員が揃って、前日に利用した全利用者の様子を、共有しています。管理者も含めて、記録に目を通しています。	職員勤務が、早番と遅番のローテーション勤務になります。その為、翌日に職員全員で、話し合いを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日記録を確認して、全職員がそろそろ、振り返りの時間に、支援の検証・改善につなげる材料を、みつけ話し合っています。	ご家族から聞いたニーズを、出来るだけ支援現場に落とし込み、モニタリング等の、基本となるデータは、工夫して記録をとります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月に1回、放課後等デイサービス計画を作成しています。現在は、中間の3か月目でモニタリングを、行っています。	今後も、計画終了月には、評価を行い、次期計画に反映していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		お子様のしたいやりたいを応援し、一人ひとりの発達過程や特性に応じながら、複数の活動を組み合わせて、提供しています。	11と同様、職員間で、共通理解を深めていきながら、お子様の育ちを応援していくことができるよう、努めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		「嫌、後です」という気持ちを伝えることも大切なので、写真カード等使って、どっちで選択して頂いています。	今後も、お子様一人ひとりにあわせて、意思疎通の方法を調べ、必要に応じて、手立てをこころじます。
関係機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		全職員が、お子様の状況を知り、理解に努めています。会議の議事録に目を通して、情報を共有しています。	毎日行われる振り返りの時間で、全てのお子様の状況を知り、職員間で共有をしていくことができるよう、努めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	お子様の状況等にあわせて、関係機関との連携を図り、情報を共有しています。相談支援員さんの情報等も、共有しています。	担当者会等で知り得た情報を、職員間で共有し、日常的に連携を図っていく観点を、大事にします。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		利用希望表をもとに、下校時刻の確認をしています。引継ぎノート等を活用し、確認しています。	今後も、保護者を介して、行事や送迎時間等の情報を得ます。学校からの情報も、共有していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	担当者会では、就学前に通所されていた、児童発達支援事業所等のご様子をお聞きし、情報共有と、相互理解に努めています。	就学前のご様子を、書面で情報を得たり、保護者様から、ご様子をお聞きしたりしています。

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		保護者様と移行先の事業所の要請に応じて、対応をしています。引き継ぎ書等、活用しています。	事業所内では、移行の視野を入れて、日頃から情報交換に努めます。情報提供ができるように、移行先の活動等、把握に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	社会福祉協議会や、療育福祉センター主催等の研修に参加しています。講義・トレーニング研修を、毎年職員が参加しています。	事業所内の職員が、ローテーションで、研修を受講しています。助言等を、職員間で共有しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	公園等の事業所外活動を提供する中で、地域で暮らすお子様との関わりが、見られています。共に活動する機会を、提供しています。	地域で暮らすお子様等との交流を含めて、様々な経験ができるよう、活動を提供していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	管理者が、県の子ども審議会に、参加しています。	地域自立支援競技会から、要請があった時には、参加できる体制を、整えていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		保護者様から、個別に相談を受けた場合は、対応をしています。日常的に職員間で、状況等話し合いを行っていきます。	お子様の状況や気づき、課題については、共通理解をもち、保護者様と共有を、図っていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	育成会連絡協議会等の、情報を提供しています。又親子で回る法人事業所見学ツアーも、実施しています。	研修がある際には、情報提供していきます。ペアレントトレーニングの学びを、現場でお伝えできるよう、接し方等伝えていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		運営規定は事業所に、掲示しています。支援プログラムは、月1回のおたよりで、HPに公表することを、お伝えします。	今後も利用契約の際に説明し、重要事項説明書は、変更の都度、保護者様に、書面でご説明をします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		日頃の聴き取りや、面談時等において、お子様やご家族の意向を聴き、必要なニーズの把握等に努めています。	面談時は、担当職員も同席しています。担当以外のお子様の、意向や困りごと等について、職員間で情報の共有に努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		モニタリングでは、データや写真等も使い、ご説明をしています。保護者様から、同意を得て、サービスを提供しています。	今後も放課後等デイサービス計画を示し、具体的に、丁寧に、ご説明ができるよう、努めていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		連絡帳の記載や、日頃の聴きとりから、悩み事等共有し、相談に応じています。事業所内で、相談に応じる機会を設けています。	子育ての悩みを、職員間で共有し、チームで、お子様をサポートできるよう、いつでも相談に応じられるよう、対応していきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	お迎えの時間帯は異なりますが、行事を通して、保護者様同士が、交流できたり、親子で楽しめる機会を、つくったりしています。	保護者会等の開催はできていません。親子で回る法人事業所見学ツアーを、年に1回、実施しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情対応の窓口と、解決責任者を設置し、その他に第三者委員を設置しています。	職員間で、情報共有しています。迅速かつ適切に対応ができるよう、管理者も含めて、話し合いを行い、対応をしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回、事業所の様子等を、おたよりで伝えています。行事予定（買い物・外食等）は、担当職員が事前に伝えています。	SNS等の活用はできていません。今後も、活動概要については、おたより等で伝えていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		おたよりは、複数の職員が目を通して、確認をしています。個人情報の使用に係る承諾について、今年度再度確認をしていきます。	支援中の見学時は、ネームに、目に触れることがあります。台帳が入ったロッカーの開閉は、その都度開める習慣をつけています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様との意思疎通や情報伝達は、お子様一人ひとりにあわせて、工夫や配慮を行っています。	気づきを、意見交換していきます。掲示物を貼り、お知らせしたり、お子様にあわせて、わかるかたちで、伝えたりしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	防災会訓練に参加したり、ハロウィンの行事では、協力をして頂き、地域の方と触れ合う機会をつくっています。	地域住民を招待する機会は、つくられていませんが、開かれた運営ができるよう、職員体制等も含め、考えていきたいです。
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		ファイルで管理しています。要望があった際には、書面で確認することができます。事故防止マニュアルも、掲示しています。	マニュアルを把握し、管理の場所等も、その都度確認をしていきます。研修を通して、職員間で、振り返る機会をもちます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		防災訓練、BCP訓練は、年に4回行っていきます。感染症BCP訓練は、机上訓練を行い、グループワークにおいて話し合いをしました。	今後も、事業継続計画に定める訓練を行い、必要な訓練を、実施してまいります。抜き打ちの訓練等の実施も行う予定です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		処方箋をその都度、お持ちして頂いています。てんかん発作については、その都度、保護者様と、情報を共有しています。	面談や連絡帳等で、状態を確認し、お迎えの際には、状況や状態等、お伝えしてまいります。職員との共有を、図ってまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		アレルギーの有無を確認し、買い物や、調理等では、複数の職員が意識し、確認しています。	通院中の場合、保護者様からの情報を得て、確認をしています。職員間で、声を掛けあい、確認もしてまいります。

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		普通救命講習を、今年度再受講しています。心肺蘇生法や、AEDの使い方等を、職員間で学んでいます。	今後も、点検活用シートを活用し、施設・設備・事業所外環境の安全点検を、2か月に1回実施しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		送迎安全装置の設置や、普通救命講習の受講は、おたよりや面談時に、お伝えをしています。	プールの日よけネットを、来年度購入する予定です。ご家族が安心して、ご利用ができる環境を整えていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事例があった際には、支援の振り返り時や、報告書をもとに、会議を開き、話し合う機会をもっています。	長期休暇期間に、ヒヤリハットが発生した場合、会議を開くことが、難しいです。口頭で伝え報告し、書面で確認をしています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会は、年に3回実施しています。セルフチェックは、中間のチェックも含めて3回行い、研修の機会を確保しています。	今後も、事業所の分析や改善策等を検討していきます。自分の支援を振り返り、職員間で共有する機会をつくります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		委員会では、振り返りと共に、話し合いをしています。保護者様に、書面で確認し、説明を行い、同意を得ています。	今後も研修や委員会を実施し、職員間で振り返りを行い、確認していきます。解除に向けて、検討していきます。